読むと聚楽のまちが♥好き♥になる

聚楽学区ニュース

（じゅらくがっく）

上京区社協が発行する、コロナ禍における学区内の動きをお伝えするニュースです。

No.1

Sept.2020

コロナ禍の中でも、安心して暮らし続けられるまちづくりが、聚楽学区では行われています。

聚楽学区では今日も、３密や衛生面に気を配りながらまちづくり活動が行われています。
今回は、聚楽社会福祉協議会が６月10日に行ったコーラス、13日に行ったふれあい配食の様子を紹介します。

◎「待ち焦がれてたえ！」「再開してくれてほんま、おおきに」

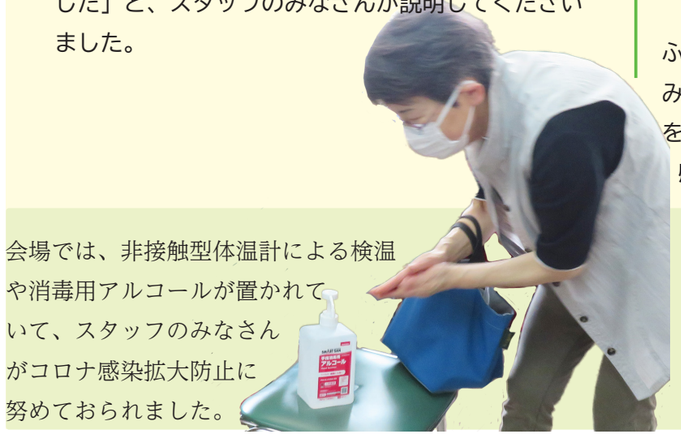
参加者の方々がそう話しながら、会場に続々と来られました。今日はコロナ禍による活動休止後初のコーラスの日。
「開催してよかったです。お互いに不安な時だからこそ、こうして顔を合わせることが大切だと、改めて感じました」と、スタッフのみなさんが説明してくださいました。

会場では窓が開け放たれ、参加者の方々が向かい合わせにならないよう座られていました。参加者さんもスタッフさんも「不安が和らぐよう、また活動が続くよう、うちらも出来ることをしていかないとね」と、話されていました。

◎「気づかってくれる人がご近所にいるから、安心して暮らし続けられる」

ふれあい配食の日は、あいにくの大雨。スタッフのみなさんは、「コロナ禍による活動休止中、困りごとを抱えた方の不安な気持ちに寄り添いたくて、でも感染拡大防止のことを考えると何もできなくて…本当にジレンマでした。だから今日、みなさんにお会いできるのが楽しみ！」と、話されていました。
訪問先で、ふれあい配食利用者のみなさんが「こんなことあったんよ」「最近、こんなことしています」と話してくださいました。利用者さんの一人は「こうして気づかってくれる人がご近所にいるから、安心して暮らし続けられる。ほんま、ありがたいことです」と、話されていました。

ふれあい配食利用者さんが見せて下さった手芸作品。
「私の叔母が、実際の着物を元に作りましたの」と教えて下さいました。



会場では、非接触型体温計による検温や消毒用アルコールが置かれていて、スタッフのみなさんがコロナ感染拡大防止に努めておられました。

ふれあい配食では、スタッフさんから利用者さんに、経口補水液と国の特別定額給付金に関するお知らせを織姫・彦星折り紙を添えてお渡ししました。

活動の内容は、コロナ禍の状況により変更となる可能性があります。最新の活動は、上京区社協（Tel:432-9535）までお問い合わせください。

＼反対側の面も、ぜひご覧ください！／